

平成 22 年度第 4 回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

1 日時, 会場

- 平成 22 年 12 月 27 日 (月) 18:30~20:55
- 宇品老人いこいの家 3 階大集会室 (南区宇品御幸四丁目)

2 出席者

- 会長外 14 名出席

3 議事要旨

(1) 協議会の進行

- 平成 22 年度第 3 回協議会の議事概要の確認
- 事業計画の再検討に係る検証結果について
 - ・交通騒音等の検証結果について説明
 - ・受入施設計画 (受入施設設置場所 (案) 及び運搬・投入方法 (案)) について説明
 - ・環境保全上の措置 (案) について説明
 - ・廃棄物受入見込量及び減少対策について説明
 - ・経済効率性の確保について説明
- 搬入ルート (案) について説明
- 協定書の見直しの考え方 (案) について説明
 - ・協定書は基本として生かし, 必要な事項は新たに確認書を交わすことで同意
- 環境監視結果等については, 全て基準に適合しており, 説明を省略した。

(2) 発言要旨

(前回協議会の議事録)

- ・過去のアセスの際に, 西風が強いことを広島市が調査しているのもので, そのデータも確認してほしい。
→ 広島市に確認してみる。
- ・過去に瀬戸内海に大きな津波がくる可能性があるとして国が発表し, 新聞に掲載されていたので調べてほしい。
→ 調べてみる。

(受入施設設置場所)

- ・処分場に近い③既存地でお願いしたい。
- ・マンションから一番遠い②隣接地の西側でお願いしたい。
- ・きちんとした施設を造れば, 離す必要はないのではないかと。
- ・環境対策を考えると地下に造るのが最もよいと聞いた。
- ・特別支援学校の位置や受入施設毎の可能な投入方法等の必要な情報を資料に記載してほしい。
- ・本日, どの案でいくのかを決定してほしい。
→ 本日は検討状況を報告し, 意見を聞く場としたい。次回の協議会でご意見を踏まえて, 県としての案を作って説明したい。

(投入方法)

- ・ベルトコンベアの支柱や浮棧橋の錨は遮水構造に影響を与えるのではないかと。
→ 県としても懸念しており、検討している。
- ・②隣接地の西側からベルトコンベアを延ばすのは不可能とする理由は。
→ 海上に長い距離のベルトコンベアを設置すると保守や修繕が困難なため。

(環境保全上の措置)

- ・粉じん対策で受入施設は負圧にされるのか。
→ 五日市の積出施設と同様の施設を計画したい。

(廃棄物受入見込量及び減少対策)

- ・産業廃棄物に限り今回見直しをするということで、なし崩し的に残土まで搬入方法を見直すべきではない。

(経済効率性の確保)

- ・470億円かけた護岸工事の費用は回収しないのか。県が税金をつぎ込めるのであれば、処分料金はいくらかでも安くできるのではないかと。
→ 護岸は恒久的な港湾施設として県が整備するもので回収対象としていない。受入施設や余水処理施設等の処分場の運営に必要なものであり、一時的に設置するものは、処分料金を回収していくこととしている。

(搬入ルート)

- ・交通規制は警察でないと規制できないので、ルート規制はするべきではない。
- ・地元へ説明できるように県でしっかりと考え方を示してほしい。
→ 見直し計画の中で県の考え方をはっきりと示したい。

4 会議資料の資料名一覧

- ・平成22年度第3回出島処分場事業連絡調整協議会の概要
- ・交通騒音等の検証結果について
- ・廃棄物受入施設の検討について
- ・環境保全上の措置(案)について
- ・出島処分場の廃棄物受入見込量及び減少対策について
- ・経済効率性の確保について
- ・搬入ルート(案)について
- ・環境基本協定書の見直しの考え方(案)について
- ・出島地区港湾整備事業環境監視結果の概要
- ・周辺環境の事前調査結果について
- ・平成22年度遮水シート等材料試験立会結果について
- ・出島地区廃棄物処分場工事だより

※ 担当事務局

広島県環境県民局環境部産業廃棄物対策課

TEL : 082-513-2964 (ダイヤルイン)